

こだま Q&A 

Q69

ある患者さんの血液一般検査報告書には、必ず「血小板の凝集が見られます。」というコメントが記載され返ってきます。どのような要因が考えられますか。

A69

採血手技に問題がないにもかかわらず血小板が凝集する場合は、EDTA 依存性偽性血小板減少症が疑われます。

EDTA の存在下、免疫グロブリンの影響で血小板と血小板とが結合することにより起こると言われていますが、そのメカニズムの詳細は不明です。この現象は自己免疫疾患、肝疾患、抗生物質投与後などに多いとされています。


これらの血小板凝集は、生体内で起きているのではなく、採血後の採血管内で起こる現象であるため、治療は不要です。

上記のような現象が起きるようでしたら、クエン酸ナトリウム入りの採血管を使用していただくことにより測定できる場合もありますので、前もって当検査センターまでご連絡ください。

参考：『広島市医師会臨床検査センターだより（第394号）』検査室発記事，平成21（2009）年12月15日発行

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)


きやうちボール

先月、25年ぶりに広島カープがリーグ優勝しました！ 今回の快進撃は、投打のベテラン選手、そして中堅・若手選手がチーム一丸となって戦った結果が実を結んだものと思います。

現在、当検査センターにおいては、5S 活動やサービスマーク取得など、業務改善に向けて様々な取り組みを実施しています。これらを成し遂げ、十分な効果を得るためには全職員が一丸となって業務にあたる姿勢が不可欠だと考えています。今回カープ優勝の原動力となったように、若手職員は先輩職員の日々の業務態度に刺激を受け自ら業務のレベルアップを目指し、また、先輩職員は若手職員から若いパワーをもらってさらに頑張るといふ相互の信頼関係が大切だと思っています。

これからも様々な場面に遭遇すると思いますが、みんなで協力して前進していきたいと考えています。よろしくご指導ください。 藤井 ひとみ（検査科免疫血清係主任）

広報委員

谷敷 圭美 / 亀石 猛 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 田中 洋子 / 初岡 博 / 高磨 潤